

グローバル知財戦略フォーラム2016

# 大学発シーズの知財活用戦略

～大学で生まれた先端技術を事業創出に活かすために～

2016年1月25日

東京大学 教授

産学連携本部 イノベーション推進部長

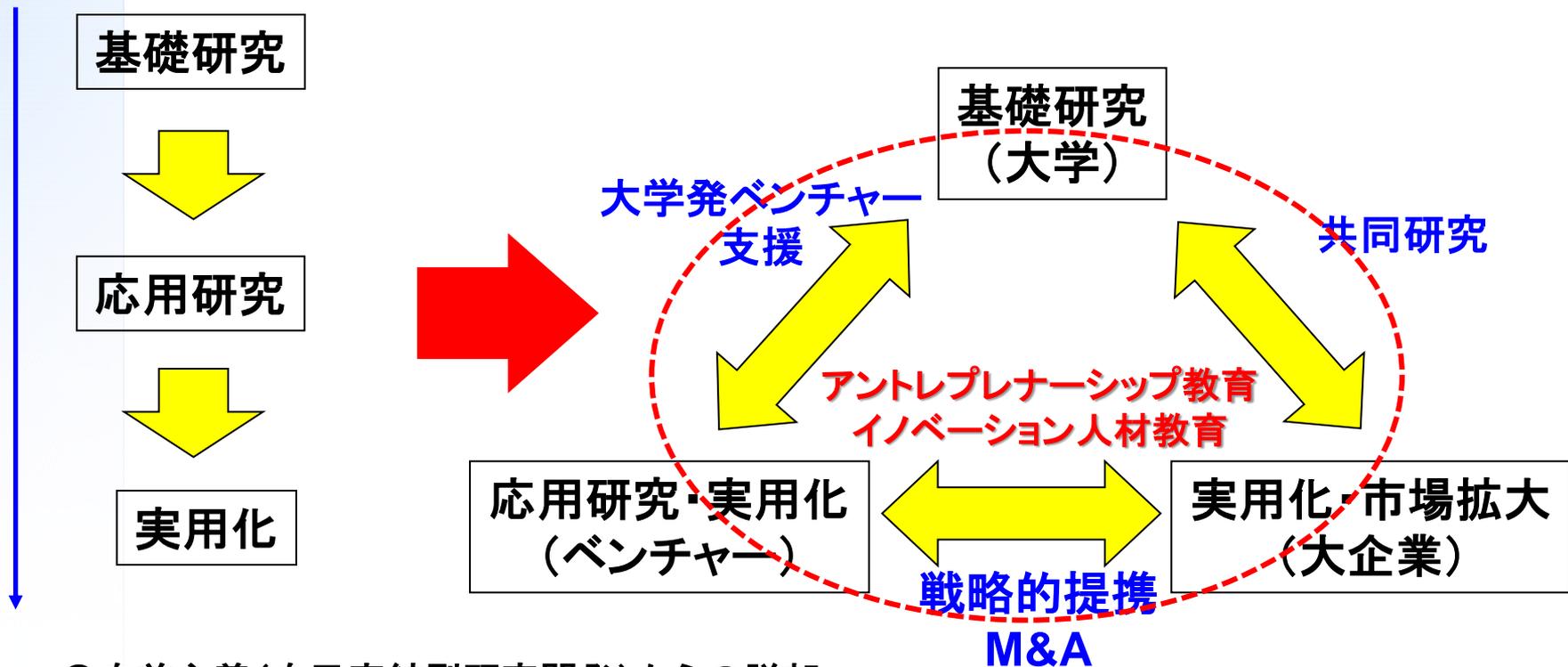
各務茂夫



# イノベーション・エコシステムの進化論

## リニアモデル

## オープンイノベーション



- 自前主義 (自己完結型研究開発) からの脱却
- 大企業・大学・ベンチャー企業間のオープンイノベーション・モデルへの転換
- 大企業によるベンチャー企業の戦略的活用 (取り込みとカーブアウト等)
- イノベーション人材教育の抜本的強化、ポスドク・博士研究者のキャリアパスの多様化

# 東大発ベンチャー育成のためのエコシステムの構築



## 【産学連携本部】

ワンストップ・ソリューション

外部プロフェッショナルネットワーク

「東大メンターズ」

卒業生室との連携

「東大ベンチャースクエア」

EDGEプログラム

(研究者向けの  
アントレプレナーシップ教育)

東

+工学系研究  
Innovation Entrepreneurship  
+工学部講義  
アントレプレナーシップ

専用インキュベーション室(本郷)

駒場・本郷インキュベーションルーム

東京大学アントレプレナープラザ

## 【東京大学エッジキャピタル(UTEK)】

UTEK サマージョブ

UTEK EIR (アントレプレナー・イン・レジデンス)

UTEK 第1号ファンド(特定)

UTEK 第2号

UTEK 第3号

出資事業  
(特定研究成果活用支援事業)

## 【東京大学TLO】

発明開示 + 特許性・市場性評価

研究成果の技術移転(ライセンス契約)

# 東京大学関連の最近の新規上場企業

- モルフォ (2011/7 東証マザーズ上場)
  - 携帯電話等の画像処理ソフト
  - 大学院生(情報理工)が博士課程での研究成果を応用して起業
  - インキュベーション施設の利用、UTEKの出資
- ユーグレナ (2012/12 東証マザーズ上場、2014/12東証1部上場指定替え)
  - 微細藻類の各種応用  
(機能性食品、化粧品、飼料、ジェット燃料)
  - 大学院生(農)が、ユーグレナ(和名ミドリムシ)の屋外大量培養技術を応用して同級生と起業
  - インキュベーション施設の利用
- ペプチドリーム (2013/6 東証マザーズ上場)
  - 特殊ペプチドによる新しい分子標的薬の開発
  - 菅裕明 教授(先端研→理学部)の研究成果を事業化
  - インキュベーション施設の利用、UTEKの出資、特許ライセンス



# 産学連携本部によるイノベーション人材育成



SXSW 2013



(対象:ポスドク・博士課程学生、企業研究者)

- NEDO「ジャパン・オープンイノベーション・プラットフォーム」
- 経産省「産学連携評価モデル・拠点モデル実証事業」
- 文科省「グローバルアントレプレナー育成促進事業(EDGE)」

# サイエンスの世界とビジネスの世界

## サイエンスの世界

## ビジネスの世界

目的・ゴール

□ 真理の探究と学問の進化

□ 収益

情報についての規範

□ 情報の公開・発信・共有

□ 秘密の確保と専有

研究開発データのありかた

□ 真理追及のためのデータ

□ ビジネスの臭いがする“データ”

重要な成果

□ 学術的なインパクトと新しい知識創出への貢献(学問的名声、他の研究者からの評価等)

□ あくまでもビジネスとしての成功、事業としての(財務)パフォーマンス

# 東京大学EDGEプログラム

(研究者を対象としたアントレプレナーシップ教育の提供)

## - 基本コンセプト -

イノベーション創出に向けた

事業化構想(事業化仮説: Showcase)



- 事業化構想を立案するためのスキル教育
- 事業化構想にリアリティを付加するメンタリング



- 事業化仮説を立案し、検証・実行できる「イノベーション人材」の育成

# 出資事業(特定研究成果活用支援事業)の方向性

- ❑ 東京大学協創プラットフォーム開発株式会社が正式に認定
  - 所在地 東京都文京区本郷三丁目40番10号 三翔ビル本郷6階
  - 代表者 大泉 克彦
  - 出資者 国立大学法人東京大学(議決権割合100%)
- ❑ 長期的な視点に立ったイノベーション・エコシステムの確立
- ❑ 民間VCはじめリスクマネー提供者との連携深化
- ❑ 大企業、事業会社との新たな産学連携の形を模索・追求
  - 共同出願特許の活用促進
  - カーブアウト型ベンチャー
- ❑ イノベーションの源泉たるシーズ発掘等プレインキュベーション機能の強化
- ❑ 多様なイノベーション人材の教育・育成、人材の還流の促進
- ❑ 広域にわたる様々なスピルオーバー
- ❑ イノベーション・エコシステムを支えるソーシャルキャピタルの構築



東京大学 教授  
産学連携本部  
イノベーション推進部長  
各務 茂夫

○一橋大学商学部卒、スイスIMEDE(現IMD)経営学修士(MBA)、米国ケースウェスタンリザーブ大学経営学博士。

○ボストンコンサルティンググループを経て、1986年コーポレートディレクション(CDI)の設立に創業パートナーとして参画、取締役主幹、米国CDI上級副社長兼事務所長を歴任。経営コンサルタント歴15年。

○学位取得後、世界最大のエグゼクティブサーチ会社の一つ、ハイドリック&ストラグル社パートナー(ボード・プラクティス)に就任。我が国企業のコーポレートガバナンス改革に取り組む。

○2002年東京大学大学院薬学系研究科「ファーマコビジネスイノベーション講座」教員となり、2004年東京大学産学連携本部 教授・事業化推進部長に就任。2004年～2013年まで(株)東京大学エッジキャピタル監査役。

○2013年4月から現職。

○大学発ベンチャー、学生発ベンチャー支援(インキュベーション、メンタリング、起業相談等)、学生起業家教育、研究者イノベーション人材育成教育、企業との大型共同研究創出に取り組む。